『冷徹閣下は火刑の魔女に愛を乞う』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『冷徹閣下は火刑の魔女に愛を乞う』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『冷徹閣下は火刑の魔女に愛を乞う』を読んだことのある20代～50代の男女14名
調査期間	2026年9月21日～2026年9月22日 2026年9月29日 2026年10月27日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス・ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/reitetukakkahakakeinomazyoniaiwokou/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：『冷徹閣下は火刑の魔女に愛を乞う』を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1：年代と性別を教えて下さい。

20代女性	1人
30代女性	4人
40代男性	3人
40代女性	1人
50代男性	4人
50代女性	1人

Q2：『冷徹閣下は火刑の魔女に愛を乞う』の感想を教えて下さい。

1話～5話	ディートリヒとエルの関係が気になります。エルが素敵な女性であることは間違いありません。しかし、魔女に対する偏見が強すぎて、ディートリッヒはエル自身に向き合えていないんですよね。エルのことを一人の女性として見てくれれば、その良さに気づいてくれるとは思うんですけど。二人の関係がもう少し良くなることを期待したいです。

1話～5話	王道のシンデレラストーリーですが、ヒロインがここまでヒーローから嫌われているのは始めてみました。このヒーローの気持ちを変えるのはちょっと大変そうです。イザベルの性格が悪いのはよくある展開なので、ここからイザベルがちょっかい出してくるんじゃないかなって思います。
6話～10話	今後イザベルがどのような行動を起こすか気になります。イザベルとしては、エルが酷い扱いをされていることを期待していたはず。となれば、今のエルの状況を知ったら到底納得できないでしょう。イザベルがどのような悪だくみを企てるのか注目したいです。
6話～10話	イザベルが乱入してきたのは嫌な展開ですが、そのおかげでなんとか一人信頼を獲得しましたね。しかも、マリアはかなりの重要人物です。マリアが味方になるのはエルにとって大きな転機となりそうです。
11話～15話	エルの罪状が凄いことになっていて驚きました。火炙りの刑となったのは魔女だからだと思っていたんですけど、そうではなかったんですね。よくここまでエルに罪を被せる気になったものだと呆れました。
11話～15話	いつも質素な感じのドレスを着ているので、綺麗なドレスを着てすごく印象が変わりましたね。そんなエルを見たディートリヒの反応もいいですね。大胆な下着を見てそのままディートリヒが我慢できなくなるのかと思いきやおあずけをくらっちゃいます。二人がラブラブになるのはまだまだ先かも。
16話～20話	イザベルの行動力に恐怖を感じました。エルにあれだけの仕打ちをしておいて、よくここまで親友のように振舞えたものです。ここまで巧妙に立ち回られてしまうと、エルがイザベルに何をされたか周囲に説明したところで信じてはもらえないでしょうね。本当に恐ろしい女性です。
16話～20話	とうとうイザベルが来ちゃいましたね。色々企んでいるみたいですけど、ディートリヒたちにはバレてそう。今はエルの味方がたくさんいますし、よくもまぁこんな味方が一人もいないところに一人で潜り込んだものです。イザベルのその大胆さは称賛しますが、聖女と言われて乗せられるバカさ加減には呆れちゃいます。
21話～25話	ディートリヒは見事でした。周囲の人たちはイザベルに騙されてしまったと思っていましたから。それらがまさか演技だったなんて、驚きです。敵を欺くにはまず味方からなんていいますけど、エルだけでなく私まで騙されてしまうとは思っても見ませんでした。
21話～25話	ようやく気づいたの？と言いたくなっちゃいました。誤解していたり、魔女が嫌いだったとは言え、これまでのエルに対する仕打ちが許されるわけではないですよね。エルが気にしていないし、むしろ感謝していそうなので、問題はないのでしょうが、ディートリヒはしばらくエルを避けることになりそう。王妃は聡明そうなので、すぐにエルを認めるんじゃないかな。
26話～28話	ミモザの真意に驚きました。一歩間違えればとんでもないことになっていたように思いますけど、それだけミモザはエルのことを信頼していたんでしょうね。マリアンヌ王妃殿下もその気持ちを汲んでくれたようで、一安心しました。あとは、最後の展開が気にかかります。流石のディートリヒも、意中の女性にここまで言い寄られては抗えないのではないでしょうか。下手すれば、気化した媚薬の影響をディートリヒも受けてしまうかもしれませんし、どのような結末を迎えるのか注目したいです。
26話～28話	エルがずっと苦労してきたことも、嫌われている中で信頼を勝ち取ったからこそ、認めてもらえたのはすごくいい流れでした。あとは、ディートリヒがさっさと自分の気持ちを受け入れるだけです。こんなにエルがアピールしているのに、最初の強引さはどうしたの？って感じです。でもなんだかんだ、人が入ってきて何事もなく終わっちゃいそう。そろそろラブラブになっても良いんですよ？
29話～30話	エルとディートリヒのすれ違いが気になりました。どちらも互いを想いあっての行動なのですから、もう少し腹を割ってちゃんと話し合って欲しいです。少なくとも、勘違いし合ったまま二人の関係が終わってしまうようなことにはならないで欲しいですね。
31話～32話	港町での展開が気になります。エルをナンパしてきた男性たちにイラっとしましたけど、これはこれで面白い展開となりました。偽装とはいえ、恋人として過ごすことが二人にどのような影響を与えるのか楽しみです。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス